

祖母井・道地	昭 26・2・15
岡・下桑島	昭 29・7・1
上赤羽・上根新田	昭 30・9・2
宇都宮一条町・ 宇都宮一の沢	昭 31・4・1
祖母井・椎谷口	昭 31・11・10
常陸太田線 八ツ木線	野口下宿・常陸太田間 昭 26・7・1
刈沼・木内	昭 28・9・21
木内・向田	昭 31・11・10

線名は水戸・宇都宮間連絡をあらわして、その1字ずつをとった。

3 営業範囲

旅客・手小荷物および貨物の取扱をしている。

4 使命

水都東線を通して東北本線と常磐線とを結ぶ短絡線の使命を有し、年来の希望であった海のない奥地から乗換なしで直接海岸線に出られることとなった。また宇都宮と茂木およびその沿線との交通は、官公衙・学校その他経済取引等きわめて頻繁で、都市近郊交通の使命をも有する。

5 特長

宇都宮から常陸太田には直通バスを2往復、宇都宮・水戸間3往復直通バスを運転している。(可野虎男)

すいととうせん 水都東線 茨城県東茨城郡沢山村(御前山)と水戸市とを結ぶ国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は水戸市にある。

- 1 区間キロ程および沿革
水戸・御前山間 26km
昭 30・1・10 開業

2 営業範囲

旅客および手小荷物の取扱をしている。

3 使命

御前山において水都西線に連り、常磐線と東北線・真岡線および烏山線に接し短絡の使命を有するほか、沿線地方の産業文化の発展助長を使命とする。

4 特長

水都西線とつながったので、水戸・宇都宮間に直通バス3往復を運転しており、乗換せずに行けて列車よりも便利がよかった。(可野虎男)

すいふくせん 水福線 茨城県水戸市と同県東茨城郡大貫町、堅倉町、同県新治郡石岡町および西茨城郡福原町等を結ぶ国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は水戸市にある。

1 区間およびキロ程

水福本線

水戸・福原	67km
下入野・中石崎	6
羽鳥・石岡	7
瓦谷・柿岡	5
常陸今泉・岩瀬	9

友部線

常陸山崎・友部	29
---------	----

2 沿革

水福本線

堅倉・福原	昭 28・9・1 開業
羽鳥・石岡	昭 28・9・1
瓦谷・柿岡	昭 28・9・1
水戸・大貫町	昭 28・10・14
下入野・涸沼	"
大貫町・堅倉	昭 29・2・11
涸沼・中石崎	昭 31・3・15
常陸今泉・岩瀬	昭 32・5・25

友部線

常陸山崎・友部	昭 31・8・16
---------	-----------

3 営業範囲

旅客および手小荷物の取扱をしている。

4 使命

常磐線石岡駅を中心として、東西に走る自動車路線で東は大貫町海岸に直結し、西は水戸線福原駅に出る鉄道の短絡線である。または沿線地方の産業文化の発展および観光開発の使命をも有する。

5 特長

沿線には周囲 28km の涸沼(ひぬま)があり、矩形の湖で、涸沼川によって那珂川へ、それから鹿島灘に連る。黒潮の影響を強く受けているので、温暖な気候は四季を通じて常春を思わせ、魚族の豊富なこと、その成長のすばらしいこと、釣場の広いことなど、理想的なつり場の1つである。

大貫町海岸は磯浜・大洗と共に海水浴場として知られている。(可野虎男)

すいめんけい 水面計(機関車の) (英)water gauge ボイラ水の水位を測る装置。ボイラ水をボイラ外に取付けたガラス管内、またはガラス板を有する容器に連通し、これにボイラ水位と同水位を生じさせ、ガラスを通じて目測するのである。ボイラ水位が下って内火室天井板が露出すると、過熱焼損して破裂を起し危険であるから、保安上一定の水位以上はかくことができない。ボイラには2個以上の水面計を備えなければならないことになっている。水面計は外火室後板の左右に設けられ、乗務員から見易い位置に取付ける。

国鉄における

水面計の構造

水面計の構造は図の上水面計体(1)を外火室後板の上部につけて蒸気部に通じ、下水面計体(2)を(1)の直下につけてボイラ水部に通じ、高さは大体前進 25% 上り勾配で、内火室最高部上 180mm 以上の水面がいいつでも表われるように取付けられる。上下

